

福岡県医発第 2518 号（地）
令和 4 年 12 月 8 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公 印 省 略)

新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えた
リーフレットについて

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、標記リーフレットにつきましては、令和 4 年 11 月 8 日付福岡県医発第 2232 号（地）にて、別紙 1 を活用した患者への呼びかけにご協力いただけるよう、貴会会員への周知依頼とともに、別紙 2 については、各地域の感染拡大又は同時流行の状況により呼びかけ内容の切替えを行うことから、改めて県行政より連絡がある旨、貴会宛てご連絡いたしました。

今般、福岡県保健医療介護部より、現在の本県における感染状況や医療への負荷の状況を鑑み、12 月 1 日から「福岡オミクロン警報」が発動されたことに伴い、標記リーフレットの別紙 1 に加えて、別紙 2 についても周知を図っていくこととした旨、連絡がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただき、別紙 1 並びに別紙 2 の院内への掲示等により患者への呼びかけにご協力いただけるよう、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

記

【感染状況と周知用リーフレットの対応関係】

(※令和 4 年 11 月 8 日付福岡県医発第 2232 号（地）より再掲)

感染状況	周知用リーフレット
新型コロナや季節性インフルの感染が落ち着いている状況	別紙 1
新型コロナや季節性インフルの感染者の増加が見られ、それぞれの感染拡大又は同時流行の兆しが見える状況	別紙 2
新型コロナや季節性インフルの感染拡大又は同時流行により医療のひっ迫が懸念される状況	

公印省略

4 疾病第 9 5 3 0 号－ 2

令和 4 年 1 2 月 1 日

公益社団法人福岡県医師会長
公益社団法人福岡県病院協会
一般社団法人福岡県私設病院協会
公益社団法人全国自治体病院協議会福岡県支部長
一般社団法人福岡県精神科病院協会

殿

福岡県保健医療介護部長
(福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局)

新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えた
リーフレットについて

本県の新型コロナウイルス感染症対策に御尽力、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

標記の件については、令和 4 年 11 月 2 日付け 4 疾病第 9530 号「新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えたリーフレットについて」にて周知を依頼したところです。

本県では、現在の感染状況や医療への負荷の状況を鑑み、12 月 1 日から「福岡オミクロン警報」を発動しました。これに伴い、別添リーフレットの別紙 1 に加えて、別紙 2 についても周知を図っていくこととしましたのでお知らせいたします。

つきましては、貴会会員に対し、別添のリーフレット 1 及び 2 をご活用していただきますよう周知をお願いいたします。

各 { 都道府県
保健所設置市
特別区 } 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部

直近の感染状況等を踏まえた国民の皆様への呼びかけについて（周知のお願い）

平素より、新型コロナウイルス感染症対策に御尽力頂きありがとうございます。

本日、厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部において、「新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォース」を開催し、タスクフォースとして、新型コロナのいわゆる第8波となる可能性や、インフルエンザの一部地域における増加傾向、病床や救急の状況を確認し（参考6参照）、今後、感染の増加が継続することも見据えて、国民の皆さまへの呼びかけの段階を先手先手で引き上げる判断を行いました（参考7参照）。

このため、厚生労働省においても、参画団体・行政機関の皆様と調整の上、10月28日に取りまとめた周知用リーフレットに関して、現在周知しているワクチン接種・新型コロナ抗原定性検査キット・解熱鎮痛薬の準備を呼びかけるリーフレット（別紙1）に加えて、重症化リスクの高い方や小学生以下の子ども向けのリーフレット（別紙2の1枚目）や、重症化リスクの低い方向けのリーフレット（別紙2の2枚目）についても、今後、感染の増加が継続することも見据えて、ウェブサイトやSNS等を通じて周知してまいりますので、御了知の上、関係各所への周知、また、ウェブサイトやSNS等を通じた周知に格別の御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、感染状況は各地域によって様々であることから、政府として、全国一律に呼びかけ内容の切替えを求めるものではなく、地域の実情に応じて、別紙2による呼びかけの実施時期が前後することも差し支えない旨、申し添えます。

また、新型コロナは一部地域で過去最高を更新しており、こうした地域では、より強いメッセージも含め、地域の実情に応じた適切な発信をお願いいたします。

感染状況（参考4参照）	周知用リーフレット
新型コロナや季節性インフルエンザの感染が落ち着いている状況	別紙1
新型コロナや季節性インフルエンザの感染者の増加が見られ、それぞれの感染拡大又は同時流行の兆しが見える状況	別紙2 （ただし医療のひっ迫が懸念される状況ではより強い呼びかけを実施する）
新型コロナや季節性インフルエンザの感染拡大又は同時流行により医療のひっ迫が懸念される状況	

(参考1) 新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応
(厚生労働省特設ウェブサイト)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00003.html

(参考2) 新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォース開催要領

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001002380.pdf>

(参考3) 新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001000988.pdf>

(参考4) 新型コロナ・インフルエンザの同時流行を見据えた感染状況に応じた国民の皆様への呼びかけ

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001002492.pdf>

(参考5) 新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願いします (リーフレット)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000884713.pdf>

(参考6) 直近の感染状況及び医療提供体制の状況

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001014453.pdf>

(参考7) 直近の感染状況等を踏まえた国民の皆様への呼びかけ

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001014600.pdf>

【問い合わせ】

新型コロナウイルス感染症対策推進本部
(同時流行対策タスクフォースについて)

戦略班 : variants@mhlw.go.jp

(周知用リーフレットについて)

広報班 : corona-kouhou@mhlw.go.jp

(同時流行に備えた医療体制、電話相談窓口等について)

医療班 : corona-houkoku@mhlw.go.jp

新型コロナウイルス感染症相談窓口

電話番号 : 0120-565653

感染が拡大する前の接種をご検討ください



- 
- (新型コロナ
ワクチンについて)

(新型コロナ
ワクチンについて)



(インフルエンザ
ワクチンについて)



**発熱などの体調不良時にそなえて、
早めに購入しておきましょう**

- ・ **新型コロナウイルス抗原定性検査キット**
 - ・ **解熱鎮痛薬**
- かかりつけ薬剤師・薬局にお気軽にご相談ください。



(市販の解熱鎮痛薬について)



あわせて確認しておきましょう

- ・ **電話相談窓口などの連絡先**
受診・相談センターなどお住まいの地域の相談窓口、「救急車利用マニュアル」の参照や#7119（救急要請相談）、#8000（こども医療相談）など
- その他、生活必需品なども用意しておきましょう。
（体温計・日持ちする食料（5～7日分）など）
- 



チェック!



(受診・相談センターについて)



(救急車利用マニュアルについて)



**国が承認した新型コロナ
抗原定性検査キットを選びましょう**

「研究用」ではなく国が承認した「医療用」もしくは「一般用」のキットを使用してください。



医療用



一般用



~~研究用~~

国が承認した検査キットの一覧



(医療用)



(一般用)

新型コロナウイルスの重症化リスクの高い方
（高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦など）・
小学生以下の子どもと保護者の方へ

感染が拡大する前の接種をご検討ください



- ・ **新型コロナワクチンの接種**
新型コロナワクチンの早期の接種をお願いします。
- ・ **インフルエンザワクチンの接種**
65歳以上の方などの定期接種対象者で、接種を希望される方は早めの接種をお願いします。



(新型コロナ
ワクチンについて)



(インフルエンザ
ワクチンについて)

喉の痛みや発熱などの症状が出たら…

新型コロナウイルスの重症化リスクの高い方は

速やかに発熱外来（診療・検査医療機関）を受診してください。

新型コロナ抗原定性検査キットで陽性が確認された場合は、その結果を受診時に医師に伝えてください。



かかりつけ医がいる場合

かかりつけ医にご相談ください。



(受診・相談センターについて)

受診を迷った場合

電話相談窓口などをご利用ください。



受診・相談センターなどお住まいの地域の相談窓口、
「救急車利用マニュアル」の参照や#7119（救急要請相談）など



以下の項目や疾患に該当する方は新型コロナウイルスの
重症化リスクが高いと考えられるため、早めに相談・受診しましょう。



(救急車利用マニュアルについて)

- ☐ 65歳以上である ☐ 喫煙歴がある ☐ 妊娠している ☐ 肥満（BMI30以上）
☐ 糖尿病 ☐ がん ☐ 慢性腎臓病 ☐ 脳血管疾患 ☐ 慢性呼吸器疾患（COPDなど）
☐ 高血圧 ☐ 脂質異常症 ☐ 心血管疾患 ☐ 免疫機能の低下の可能性がある

小学生以下の子どもは

かかりつけ医はじめ地域の小児科医などにご相談ください。

特に、子どもの場合は、症状は年齢などによって様々です。
機嫌がよく、辛そうでなければ、慌てず様子を見たり、かかりつけ医にご相談ください。



**受診を迷った場合
夜間や休日の場合**

電話相談窓口などをご利用ください。



(救急車利用
マニュアルについて)



「救急車利用マニュアル」、「こどもの救急」等関係Webサイトの参照や
#7119（救急要請相談）、#8000（こども医療相談）など



2歳未満では新型コロナ、5歳未満ではインフルエンザ、基礎疾患のある子どもは年齢にかかわらず両方の重症化リスクがありますので、心配なことがあれば、予めかかりつけ医と対応を相談しておきましょう。



(こどもの救急について)

新型コロナウイルスの 重症化リスクの低い方へ

(高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦などと小学生以下の子ども以外の方)

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。

**流行時は、発熱外来の予約が取りづらくなります。
重症化リスクの高い方を守るため、
健康フォローアップセンターをご活用ください。**

喉の痛みや発熱などの症状が出たら…

**まずはご自身で新型コロナ
抗原定性検査キットで検査してください。**

「研究用」ではなく国が承認した「医療用」もしくは「一般用」のキットを使用してください。



医療用



一般用



国が承認した検査キットの一覧



(医療用)



(一般用)

**陽性だった場合は、地域の健康フォローアップ
センターに登録して自宅療養をお願いします。**



- ・体調変化時には、健康フォローアップセンターにご連絡ください。
- ・検査キットの結果が陰性でも新型コロナやインフルなどに感染している場合があります。感染拡大を防ぐため、体調不良が続くときは、自宅で療養をお願いします。



(健康フォローアップ
センターについて)

受診を迷った場合

電話相談窓口などをご利用ください。

受診・相談センターなどお住まいの地域の相談窓口、「救急車利用マニュアル」の参照や#7119(救急要請相談)、#8000(こども医療相談)など



(受診・相談センターについて)

症状が重いなど受診を希望する場合

受診・相談センターに相談し、
かかりつけ医・発熱外来の受診や電話診療・オンライン診療をご検討ください。



(救急車利用マニュアルについて)

新型コロナワクチンの早期の接種をお願いします